

一般社団法人レジリエンス LABO 2026 年度 事業計画書(案)

対象期間:2026 年 7 月 1 日 ~ 2027 年 6 月 30 日

当年度は前年度に実施した「親なきあと意識調査」の知見を活かした既存の教育・福祉研修の質的向上を図り、中長期的な基盤となる「ゆめサポート採用」のモデル化に向けた研究事業を新たにスタートさせます。

具体的実施スケジュール

【第 1 四半期】2026 年 7 月 ~ 2026 年 9 月:通常事業の完遂と助成事業準備

- **教職員向け夏季研修の実施:** 浦安市教育委員会、千葉市養護教育センター等での夏季研修講師を確実に遂行し、自立活動やソーシャルスキルトレーニング(SST)のプログラム指導を行います。
- **SJF 助成採択に向けた準備:** 9 月の SJF 申請書提出に合わせ、協力予定団体(千歳会、生活クラブ風の村、さざんか会等)との事前の情報交換および役割分担の調整を開始します。

【第 2 四半期】2026 年 10 月 ~ 2026 年 12 月:ネットワーク構築期

- **受入施設の開拓と相談:** 福祉施設や学校、養成所(代々木アニメーション学院等)を訪問し、次期から開始する「ゆめサポート採用」モデルの求職ニーズと受入条件のすり合わせを行います。
- **作業環境の整備:** 2027 年 1 月からの助成期間開始に向け、研究・面談用スペース(地域事務所)の確保およびオンライン面談用 PC 等の機材選定を完了させます。

【第 3 四半期】2027 年 1 月 ~ 2027 年 3 月:助成事業スタート・体制整備

- **「ゆめサポート採用」研究事業の本格始動(SJF 助成期間開始):**
 - 確保した作業室にて、当法人スタッフによる求職者(ケアリーバー、夢を追う若者等)の相談受付・面談体制を構築します。
 - 福祉施設、ハローワーク、社会福祉協議会等の中立機関を交えた初期の連携体制を正式に発足させます。
- **福祉現場向けカスハラ対策:** 前年の船橋市での実績を活かし、年度末に不当クレームが発生しやすい福祉現場へのスポット相談支援を継続します。

【第 4 四半期】2027 年 4 月 ~ 2027 年 6 月:体験研修と個別マッチング

- **募集・体験研修プログラムの始動:** 申請書の計画に則り、対象者の募集、受入施設の選定、および初期の福祉体験研修プログラムを実施します。
- **個別面談と条件調整:** 参加者の夢や生活状況(就労時間、学びや練習との両立、住まい)を丁寧にヒアリングし、施設側と短時間勤務正職員などの柔軟なシフト条件を個別に調整します。
- **中間検証:** 2026 年度末(6 月末)時点で、マッチングの進捗や現場の課題を記録・整理し、次年度(2027 年 7 月以降)の OJT 支援およびアドボカシーカフェ(市民対話)の開催へと繋げます。